

9 おわりに

事故調査委員会の調査は、郁香さんの事故から3ヶ月後に開始することとなり、ご両親のほか、学校関係者、病院関係者、救急隊、県教育委員会職員などへの聞き取りや文書による調査を重ねてきた。

この間、69回にわたり行なわれた事故調査委員会（うち2回は大雨の影響などで中止とされた）は、郁香さんに何があったのかを知りたい、このような学校事故が二度と起きないように再発防止につなげてほしいというご両親の思いに応えるべく、協議を行なってきた。特に、当日の事故の発生に至る経過、郁香さんが倒れるまでの状況、その後の対応といった状況を明らかにするために、関係者への聞き取りを重ねた。郁香さんの事故発生に至るまでに何が起きたのかを明らかにすることが委員会の役割の一つでもあり、関係者からの聞き取り、学校の記録、救急隊の記録、搬送された鶴見病院の医師からの所見などを繰り返し検討してきた。当日の状況に関する、すべての事実を明らかにすることができた訳ではないが、関係者の聞き取りを総合し、委員会として当日の状況を認定するという手続きとなった。

記載されている内容は、行政を含め、教育に関わる関係者に重く受け止めていただきたい。

このような出来事を二度と起こさないためにも、事故を未然に防ぐための取り組みや、救急対応訓練などの事故対応に係る研修や訓練が実効性のあるものとなるように、具体的な見直しや改善を実施してもらいたい。学校においてさまざまな教育活動を行っていく、その基盤として安全で安心な環境が必要であることを忘れてはならない。子どもたちの学校生活が実りのあるものとなり、個々の発達につながっていくことを願っている。

郁香さんの母親は、審議経過を聞くために、夜間にもかかわらず、会議の後に県庁舎を訪れた。

二度とこのような事故が起きないように願い、郁香さんのご冥福を心よりお祈りする。

令和元年7月16日

事故調査委員会一同